

平成14年度 公共事業再評価調書（担い手育成基盤整備事業）

（事業着手後 5年以上経過し継続中の事業）

評価確定日	平成14年11月27日
所管部課名	農林水産部 農地整備課

地区名	事業の概要	1 必要性の観点			2 事業進捗の見込みの観点																								
		事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	事業の投資効果	[事業進捗の見込み]																								
<p>[地区名]</p> <p>さん ない 山 内</p> <p>[所在地]</p> <p>南秋田郡 五城目町</p>	<p>[事業の目的]</p> <p>土地利用型農業の確立を図るため、担い手農家等による大規模な農業経営が行われる見込みのある地域で大区画の高生産性ほ場整備を実施し、生産性の向上と生産コストの低減を図るとともに、連担的農地の集積を促進し、望ましい担い手の育成・確保を図る。</p> <p>[総合計画上の位置付け]</p> <p>「あきた21総合計画」では、国際化の急激な進展に対応しうる生産性の高い農業とこれを支える活力ある農村を確立するため生産基盤であるほ場の整備をH12～22の11年間に14,500ha整備率76%を目標に整備する。特に、計画前期のH12～14の3年間に4,500haを整備する。</p>	<p>[事業の経緯]</p> <p>H9 事業採択 H10 工事着手 (H14 面工事完了予定) (H17 換地処分、完了予定)</p> <p>[進捗状況]</p> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>全体</td> <td>H14まで</td> <td>進捗率</td> </tr> <tr> <td>区画整理</td> <td>103.8ha</td> <td>98.8ha</td> <td>95.2%</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>1,643</td> <td>1,252</td> <td>76.2%</td> </tr> </table> <p>[長期継続の理由]</p> <p>予算の制約に加え、隣接地の整備要望が出されていることから期間を要している。</p>	区分	全体	H14まで	進捗率	区画整理	103.8ha	98.8ha	95.2%	事業費	1,643	1,252	76.2%	<p>[社会経済情勢の変化]</p> <p>農産物の輸入自由化や米価の下落により、農家の経営が厳しさを増していることから生産コストの低減が強く求められている。このため、本事業により農地の基盤を早急に整備し、担い手等に農地の集積を図るとともに、労働時間の短縮や営農経費の節減により、生産性の高い営農を進めることが急務である。</p> <p>[地元の意向]</p> <p>平成10年4月に湖東地域の4農協による合併がなされ、「JAあきた湖東」が発足し、従来の水稲指導のほか畑作に戦略物等の導入を行い生産性向上のための指導及び販路拡大を強化している。また、ほ場整備事業を契機に水稲・大豆等の土地利用型作物をはじめ、野菜生産の維持拡大を図るため、大区画ほ場を活用し担い手を中心とする効率的な生産体制の整備や合理的な作付体系の導入・定着を総合的に推進しており、事業の早期完成を強く望んでいる。</p> <p>[環境対策]</p> <p>「農業農村整備環境対策指針」に基づき保全すべき環境を確認の上事業推進している。本地区では、環境関連法令に係わる事項は特にない。</p>	<p>[整備効果]</p> <p>本事業を契機に、担い手に農地の集積を図る他に、生産組合を設立すべく準備を進め、農業機械の共同化や基幹作業の省力化などに努め、低コスト化が促進されると期待されている。また、転作面積の拡大と複合経営に取り組むため、集落を単位とした大豆生産組合が結成されるなど複合経営に取り組む機運が高まってきているほか、町で実施している良質な堆肥を活用した生産にも取り組む予定である。</p> <p>担い手経営面積 担い手農家 5戸</p> <table border="1"> <tr> <td>地区面積</td> <td>担い手経営</td> <td>シェア</td> </tr> <tr> <td>98.8ha</td> <td>15.8ha</td> <td>16.0%</td> </tr> </table> <p>[費用の変更]</p> <p>地区編入に伴う事業費の増</p> <p>[効果の変化]</p> <p>地区編入分の効果増</p> <p>[費用対効果]</p> <table border="1"> <tr> <td>計画時</td> <td>1.05</td> </tr> <tr> <td>再評価時</td> <td>1.04</td> </tr> <tr> <td>採択基準</td> <td>1.00</td> </tr> </table>	地区面積	担い手経営	シェア	98.8ha	15.8ha	16.0%	計画時	1.05	再評価時	1.04	採択基準	1.00	<p>[事業進捗の見込み]</p> <p>H16までに主要工事を完了し、H17に補完工事や換地処分を実施し完了する予定である。</p> <p>3 コスト縮減や代替案立案等の可能性の観点</p> <p>[コスト縮減の可能性]</p> <p>逆田修正に要する用土を他事業（ふるさと農道）からの残土を利用するなどコスト縮減に努め事業の進捗を図っている。</p> <p>[代替案立案の可能性]</p> <p>なし。</p>
区分	全体	H14まで	進捗率																										
区画整理	103.8ha	98.8ha	95.2%																										
事業費	1,643	1,252	76.2%																										
地区面積	担い手経営	シェア																											
98.8ha	15.8ha	16.0%																											
計画時	1.05																												
再評価時	1.04																												
採択基準	1.00																												
再評価の結果		対応方針（案）及びその理由		公共事業評価専門委員会の意見																									
<p>継続・中止</p>		<p>[対応方針（案）]</p> <p>平成17年度に換地処分を実施し、完了を図る。</p> <p>[理由]</p> <p>平成13年度までに面工事を終えた区域は、既に作付が行われている。また、H14年度までには面工事を終え、その後、地元要望に応えるための補完工事を実施することとしており、事業を推進する上で支障もなく、平成17年度に換地処分を実施し完了することが可能である。</p>		<p>継続は妥当と認める。</p>																									